



新聞をつかった「やさしい日本語」研究会VOL.12

テーマ

どうなってるの？多文化共生 ～兵庫県における外国人教育の現状～



日本語指導が必要な児童生徒数は全国で過去最多の84,759人（文部科学省R8.5に報道発表、日本籍含む）、このうち兵庫県内は2,255人です。そして、その数はこれからも増加の一途をたどるとみられます。

これからの日本の教育において、これら児童生徒への支援をどのように行っていけばよいのか、まさに今、現場で支援に当たられている方から現状を聞き、みんなで一緒に考えてみませんか？

9月30日(水) 19:30～20:45

前半：講演 後半：参加者による意見交換

お申し込みURL:<https://forms.gle/WTsT5kVoz16XSfeQ7>



(9/27申し込み〆切)

ゲスト講演：山本紀子さん（ひょうご外国ルーツのこどもネットワーク事務局、元県立高校教員）

- ・公的データからみる兵庫県における外国人教育の状況
- ・ネットワーク調査からみる外国人生徒の高校受検と進学状況
- ・在留資格に関わる諸問題
- ・日本語指導が必要な生徒や保護者・ダイレクト生への出願に対する配慮は？



場 所：zoomオンライン

募 集：多文化共生・人権・教育・コミュニケーション・NIE等に興味のある方

参加費：無料

主 催：一般社団法人メディア教育協会NIEs2.0



※一般社団法人メディア教育協会NIEs2.0は、メディア教育・多文化共修・人権教育を柱に、教育現場と社会をつなぐ活動を行う非営利法人です

